

## 活動状況報告（11月）

学生留学コース 5期生 幡谷 省悟

私は今月からウィスコンシン大学マディソン校での研究を本格的に開始しました。当初の計画通り、植物の窒素代謝の解明を目的として、北海道大学の所属研究室で作成した植物のアミノ基転移酵素を利用し研究を行っています。具体的には、ウィスコンシン大学マディソン校 Maeda 研究室で Koper 博士の指導のもと、アミノ基転移酵素の酵素活性試験と質量分析器によるプロテオミクス解析を用いた基質特異性の網羅的な決定技術を学んでいます。今月は解析の一連の流れを学習できたため、今後は質量分析器の各パラメータ設定や解析結果の分析・解釈の方法等を学びたいと考えています。

また、毎週 Maeda 教授、Koper 博士とのミーティングで日実験結果の報告とそれについての議論を英語で行うことで、実践的な英語力の向上に努めています。さらに、日々の実験に加えてウィスコンシン大学マディソン校の植物学に関連する複数の研究室が共同で行っているセミナーに毎週参加し、最新の植物学研究について学習しています。Koper 博士に指導を受けている様子を撮影した写真を添付いたします。

